

Paris

ニュース | 特集 | いぬパリ | パリとバレエとオペラ座と | パリのマルシェとレシピ | PARIS DECO | パリジェンヌファイル |
パリブログ | 私のパリ

HOME > PARIS > PARIS DECO

パティニョール・ポボ族のためのインテリア、ジョー & レオン。

PARIS DECO

July 5, 2019

1/3

パリ17区のパティニョール地区に暮らすのは、9区や10区に比べるとファミリー志向の若いポボたちが多く、都会に在ることを忘れさせる緑あふれるクリシー=パティニョール・マーティン・ルーサー=キング公園もできて、子どものいるファミリーにとってパリ17の中心部から少し外れるもののそれだけの価値がある土地である。そんな彼らのインテリアをより楽しく、美しく彩るブティック jo & léon(ジョー & レオン)が6月にオープンした。



ようこそ！ ブティックでは動物のファミリーがお出迎え。photo: Francis Amiand

個人宅の内装を手がける室内建築家のアルノー・ルノワールと建築家のアマンディーヌ・ゴメス＝ヴァエズのデュオが開いた初のコンセプトストアだ。リビング、ダイニング、キッチン、子ども部屋……仕事柄、ふたりは横長のブティック内をアパートマンのように構成。その中で部屋作りのヒントを見せつつ、家具やオブジェを販売している。彼らが世界各地のブランドからセレクトした家具から石鹸まで、扱う品は幅が広い。そしてブティックの一角では、パリでまとまって紹介されたことのない若手クリエイターや新しいブランドのポップアップも開催している。3カ月交代で、初回はラタンの家具のオーキッド・エディション。



コーナー別に作られた店内。Normann Copenhagenの家具を多く扱っている。photo: Francis Amiand



独特の色味が食卓に個性を演出するSeraxの陶器。



キッチンスペースにはグリーンが傷性的な中国産の大理石White Beautyを使用。photo: Francis Amiand



Tzachi Nevoがデザインするテルアビブ発のUmasqu。動物や人の顔が手描きされたマスクをリビングルームの装飾にする提案。photo: Francis Amiland



フランス人カップルによるブランドMuskhaneフェルトの動物たちはカトマンズから。

2/3 ^



子ども部屋のコーナー。



バスルーム用プロダクトも扱う。小石のようなビオの石鹸は3種あり、オリジナルのパッケージ入り。10〜12ユーロ。



ポップアップの第1号は4名のクリエイターがデザインするOrchid Edition。photo: Francis Amiland



カンヌ映画祭の際に人気沸騰したメルボルン発の薄型軽量水筒“メモ・ボトル”。複数サイズを扱っている。9ユーロ〜。